

NEWS RELEASE (2018年1月22日)

秋名・幾里の環境文化を知る・見つけるシンポジウム

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次の『秋名・幾里の環境文化を知る・見つけるシンポジウム』について告知及び取材方よろしくお願ひ申し上げます。

記

趣旨:

生態系管理と環境文化を特徴とする新たなタイプの国立公園として2017年3月に「奄美群島国立公園」が誕生しました。国立公園内には「人と自然の関わりを示す有形無形の文化景観や集落景観」も含まれることになりました。

自然とのかかわりの中で育まれてきた奄美の環境文化が今後の国立公園の管理運営(保護と適正利用の推進)にどのような形で位置づけられることになるのか、国立公園を所管する環境省においても手探りの状況にあります。地域住民にとっても国立公園に含まれたことが今後の地域づくりにどのような形で生かされることになるのかについて具体的なイメージを有してはいません。

ついでには、国立公園区域に含まれる秋名・幾里集落の住民の参加を得てシンポジウムを開催することによって、奄美の環境文化について再確認を行うとともに、今後の展開について関係者で議論し、奄美群島国立公園の環境文化について奄美地域における住民等関係者の認識を深めるものです。

日時:平成30年1月28日(日)13:00~17:15

場所:秋名コミュニティセンター(大島郡龍郷町幾里 421)

対象:一般市民、学生、教職員、他大学関係者、自治体関係者、団体関係者等

参加数:70名(予定)

プログラム

挨拶 環境省奄美自然保護官事務所 千葉 康人上席自然保護官

1. 第1部 「環境文化」を知る

『屋久島の環境文化構想と里めぐり』

(公財)屋久島環境文化財団事務局長 北村 和博氏

『住用町におけるシマの宝の磨き方・活かし方』

NPO 法人すみようヤムランド 和田 美智子氏

『奄美博物館の「環境文化」構想の初公開』

奄美市奄美博物館 学芸員 高梨 修氏

コーディネーター:小栗 有子氏 鹿児島大学准教授(鹿児島環境学研究会)

2. 第2部 足元にある「環境文化」をさがす

『秋名・幾里地区の集落活動から考える

アラセツ保存会会長 窪田 圭喜氏 ほか

『外の世界の視点を交えて考える』

鹿児島大学教授(文化人類学・島嶼学) 桑原 季雄氏

コーディネーター:星野 一昭氏 鹿児島大学特任教授(鹿児島環境学研究会)

3. 第3部 「環境文化」を調べる

案内人:鹿児島大学教授 桑原 季雄氏

鹿児島大学准教授 小林 善仁氏(鹿児島環境学研究会) ほか

4. 閉会

申込:不要、参加料:無料

(問い合わせ先)

国立大学法人 鹿児島大学 研究推進部 研究協力課 研究協力係

鹿児島環境学担当 中村 朋子 kenkyo@kuas.kagoshima-u.ac.jp

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-40 TEL 099-285-3229 FAX 099-285-7037